

チームけせんの和 だより

2017
vol.15
7月号

発行 陸前高田の在宅療養を支える会（チームけせんの和）

〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字鳴石42-5 TEL 0192-54-2111 FAX 0192-55-6118

陸前高田の在宅療養を支える会（チームけせんの和）新任会長挨拶

広田歯科医院院長 大和田 剛 史



この度石木幹人前会長から、会長を引き継ぎました大和田です。私には不似合いの役ですが、引き受けた以上なんとか頑張りますので、会の皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

石木先生は、震災後より現在まで、ご家族のご不幸があらながらも、高田病院の復旧や陸前高田の在宅療養を支える会の立ち上げ等々、公を選択し、陸前高田市の医療の最前線で頑張っていたくれました。この辺で少し休みたいとのことでしたので、お引き受けした次第です。石木先生、本当にお疲れ様でした。

平成25年2月9日の設立総会から、早5年目を迎えました。私は今までこの会がどのような活動をしていたのか詳しく把握していなかったので、初めて真面目に「チームけせんの和だより」を1号から14号まで初めて真剣に目をとりました。分かった

ことは、現在87事業所が会員になっている事。研修会は30回位行っており、しかも参加者が常に50名前後と活気ある研修会である事。そして、40人位が自己紹介や事業所紹介を載せている事。事務局さん、ご苦労様でした。

さて、陸前高田市は、石木先生が以前に予測したとおり、高齢化が進み、今まで経験したことがないゾーンに突入しております。今後、市の在宅療養の成功・不成功は、我々にかかっております。チームけせんの和の活動を通して最新情報を取り入れ、知恵を出し合い創造発展して行ければなあと思っています。その為には、研修会には半強制的に参加していただき（笑い）、もちろん懇親会にも参加していただき、情報交換し、シェアし、チームけせんの和に参加して良かったと思えるような学びの場にしましょう。

ドクター・コンシャスネス（意識→石木）が播いた種が、今後大きな実を結ぶように、損得は抜きにしてみんなで一緒にやりましょう。地域包括支援センター様・事務局様にはこれからもまとめ役として、よろしくお願い致します。

とにかく、「チームけせんの和」の仲間として、クルーとして、ワンピースという石木（意識）で会員の皆様のご協力を再度お願いいたします。

最後に、私はずぼらなもんですから、いろいろ失敗すると思いますので、はじめに「ごめんなさい」と謝っておきます。2年間宜しくお願い致します。

「チームけせんの和」に寄せて

岩手県立高田病院 総看護師長 熊谷 恵理



昨年4月に異動してまいりました、高田病院・総看護師長の熊谷恵理です。早いものであつという間に1年が経過しました。異動と同時に活動に参加させていただいた「チームけせんの和」は在宅療養を支える関係者が一同に会し、職域を越え学習会や情報交換を通じ連携を深めており地域を動かすパワーの源であると感じました。この会の活動を通して、地域の皆様のため高田病院の役割・使命をより考える機会となりました。病院看護師は患者さんの療養の場が在宅へと移る際、十分な退院指導や必要な福祉サービスの活用など、退院調整不足とならないように関わる必要があります。

そこで、昨年度より退院直後の患者さんに訪問看護を行い、在宅療養で困りごとはないか、退院指導で不足な点はなかったかなど入院中の看護ケアの評価も兼ねた活動を開始しております。

患者さん宅を訪問し在宅療養の様子を伺うことで「入院中の受持ちの看護師が来てくれて嬉しい」「困った事があったので相談できた」など好評価を得ております。また、看護科では地域の皆様とつながり、健康に対する不安を少しでも解消し、早期受診あるいは軽症のうちに入院し早期に在宅療養に移行できる環境づくりが必要ではないかと考えました。そこで災害公営住宅へ出向き健康に関するお話や相談、病院に関する質問、新病院に対する要望などを伺う「看護出張外来」を行っております。今年度は3箇所ですべて10回程度を予定しております。

仮設病院は施設の所々を修繕しながら使用している状況で、住民の皆様にも大変ご不便をおかけしておりますが、今年度末に新病院が完成する予定です。

今後も入院機能を備えた地域病院として「ほっとつばき」等の普及に努めるなど様々な活動を継続していきたいと思っておりますので皆様よりしくお願いいたします。



下和野公営住宅での「看護出張外来」
(平成 29 年 6 月 30 日)



チームけせんの和 活動報告

平成 29 年 5 月 17 日 (水)

@陸前高田市役所 4号棟 第6会議室

平成 29 年度「陸前高田の在宅療養を支える会 (チームけせんの和)」総会

(56 名参加)

平成 29 年度総会は、上記の日程で行われ平成 28 年度事業報告・決算報告・監査報告・平成 29 年度事業計画案及び予算案・役員の変更について事務局から提案があり協議され承認されました。



新会長挨拶 (石木幹人前会長・大和剛史新会長)

平成 29 年 5 月 17 日 (水)

@陸前高田市役所 4号棟 第6会議室

平成 29 年度 第 1 回研修会 (56 名参加)

紙芝居「口腔ケア」

原作：劇団ばばば☆「健康長寿はお口から！」

演者：陸前高田市保健推進委員となかまの会

陸前高田市の健康づくりを目指して大活躍をしている「陸前高田市保健推進員となかまの会」による紙芝居を公演していただきました。原作を忠実に紙芝居に仕立て、実に分かりやすく画面構成されておりました。会場からは「聞きやすかった。」「小中学校での公演をしてもらって県内ワーストワンからの脱却が出来ないだろうか。」等々の意見がだされ、会場はもちろん、原作者の歯科医師会や歯科衛生士会の皆さん方からも大きな拍手が送られました。今後の活躍がますます楽しみです。



保健推進委員となかまの会による紙芝居上演

平成 29 年 7 月 5 日 (水)

陸前高田市コミュニティホール 大会議室

平成 29 年度 第 2 回研修会 (108 名参加)

テーマ：「人間学を根拠とした認知症介護の入門」

講師：生活とリハビリ研究所代表 三好 春樹 先生

一昨年の研修会で大好評だった「目からウロコの介護術」に引き続き三好先生にご講演頂きました。先生の実体験の数々のエピソードを通じて、介護の分業化は間違いで、認知症の方は「その時を生きている」のであり、見当識障害は変化と考え、過去に帰るのは自己確認と捉えて、いかに安心できる役割のある場所を作り、その方のニーズを引き出せるかとの大切さを学びました。また、「介護者は考える杖」であり、よい介護者は「その場をしのぎ、時間をかせぎ、機嫌を良くする人がいい」との言葉に、多数の受講者が笑顔で頷いており、さらなる介護に臨む力を頂いた研修会となりました。



※この会報は、市からの補助金で作成しました。

リハビリ特化型デイサービス ReBorn ・フィットネススタジオ ReBorn

ReBorn 統括マネージャー 草 別 拓 郎

当施設はデイサービスとフィットネススタジオを融合した独自の新しいスタイルで、4月27日にアバッセたかた内にオープンしました。デイサービスは、在宅生活において『活動』や『参加』場面に制限を有する利用される方の『できる力』を、そして主体的に『したい日常生活』を送るためのリハビリテーションを提供します。半日利用で入浴や食事はなく、運動をメインとした機能向上を図ることを目的とした施設になっています。デイサービス提供時間以外はフィットネススタジオとして、地域住民の健康寿命を延ばすため、リハビリテーションの観点から皆様の健康な身体作りをサポートします。

東日本大震災により陸前高田市内では市民の運動施設・運動機会の場を喪失してしまったことで、子どもの肥満や成人の生活習慣病を招いている現状があります。これから未来を担う子どもたちや親となる若者世代の運動習慣を支えていきます。さらに介護保険を利用されていない高齢者の介護予防を図ります。介護予防を図ることで元気な高齢者が増え、国への社会保険費の負担を軽減することにつながることも期待できます。フィットネスに対してリハビリテーションの観点は、身体面の不安を抱える方からスポーツをされている方まで幅広く支援していくことが目的です。

新役員の紹介



- | | | |
|-----|---------|---------------|
| 会 長 | 大和田剛史 | 広田歯科医院 |
| 副会長 | 田 畑 潔 | 県立高田病院 |
| | 菅原由紀枝 | 栄養士会 |
| 役 員 | 鶴 浦 章 | 医師会 |
| | 村 上 恵 一 | 歯科医師会 |
| | 大 坂 敏 夫 | 薬剤師会 |
| | 熊 谷 恵 里 | 県立高田病院看護科 |
| | 入澤美紀子 | 訪問診療部 |
| | 戸 羽 久 恵 | 訪問看護ステーション |
| | 高 橋 洋 喜 | 地域密着型介護老人福祉施設 |
| | 村 上 英 永 | 介護支援専門員連絡協議会 |
| | 金 野 悦 子 | 歯科衛生士会 |
| | 阿比留友樹 | 訪問リハビリステーション |
| | 近 江 雅 喜 | 障害者相談支援専門員 |
| 監 事 | 一 井 誠 | 県立高田病院事務局 |
| | 佐 藤 吉 樹 | 介護支援専門員連絡協議会 |
| 顧 問 | 石 木 幹 人 | 国保二又診療所 |

編集後記

陸前高田市民を取り巻く環境の動きはこの春からめざましく、高台商業地のオープン・高田松原再生記念植樹会・市立図書館の新築オープン・7年ぶりのおてんのう様の復活と続きました。新会長の挨拶を拝見して、市民がずっと陸前高田で暮らせるように、大好きな陸前高田で一生を過ごせるように「チームけせんの和」の地道な活動を今年も続けて行こうと気持ちを新たにしました。今年度も会員の皆様どうぞよろしくお願ひ致します。